

岐阜大学大学院への入学おめでとうございます。本日ここに大学院に入学してこられた562名の皆さんに対して岐阜大学のすべての教職員を代表して心から歓迎の意を表します。入学の喜びと勉学への意欲に燃える皆さんを柳戸キャンパスに迎えることは私共岐阜大学の教職員にとって大きな喜びであります。これまで勉学を支えて下さった御家族の方や恩師の方々に、心よりお祝いを申し上げます。

岐阜大学には5つの学部の大学院前期課程、2つの学部の大学院後期課程がある他、岐阜大学を基幹校とする3つの連合大学院があります。本日、連合大学院の内、岐阜大学と岐阜薬科大学とで構成される連合創薬医療情報研究科に入学する方は、教職大学院に入学される社会人の方と共に出席されています。それ故、細江岐阜市長、勝野岐阜薬科大学長に列席を頂いております。

私は大学院の時期というのは短いながらかけがえのない時であると思います。高度な知識を学び自由な研究を行う他、社会や学問の世界に飛び出す準備期間として、真実を求める科学に関するしっかりとした考え、思想を育てる時であると思います。

さて、御承知とは思いますが、メンデルはエンドウが一貫して緑色の豆からは新しい緑色の豆が出来、黄色い豆からは黄色い豆が出来、遺伝形質は対をなし、各々は親から互いに独立に遺伝することを1865年に論文として発表しています。メンデルの法則の本質的な生物の性質は遺伝因子によって保持され、その性質の発現は数学的な組み合わせと優性、劣性の関係で決まるということであり、簡単な区別出来る形質を選び、博物学的な生物学に統計学という数学を導入したことが画期的であるとされています。しかし、メンデルの研究は彼が死ぬまで正しい評価を受けることはなく、彼の論文の多くは破棄されます。

ダーウィンは1859年に「種の起源」を発表します。ダーウィンの進化論は、変異による優れた個体、自然淘汰、種の進化という3段論法であります。ダーウィンの進化論が当時の生物学、社会、文化に与えた衝撃はメガトン級であり、キリスト教社会から強い怒りをかったのは御承知の通りです。ダーウィンを支持する人達と宗教界との間では何度となく裁判が繰り返されます。1925年のアメリカでの裁判ではダーウィンの進化論を教えたハイスクールの教師J スコープは100ドルの罰金刑を受けます。これらは歴史的に科学が社会からさまざまな評価を受けてきたことを如実に示しています。

ところで、皆さんは岐阜大学の第4代学長の今西錦司先生という方を御存知

でしょうか？ダーウィンの進化論は突然変異と自然淘汰を二本の柱とする理論ですが、今西先生は「棲み分け」と「種社会」を中心的な概論とする独自の進化論を展開します。今西先生は京都の鴨川に生息しているヒラタカゲロウの幼虫について調べ、川の流れの速さに応じて、流れの中心から、4種類のヒラタカゲロウが順に並んで分布していることを発見しています。彼はカゲロウの幼虫が、川の流れの速さに応じて分布している様な自然現象を「棲み分け」と呼びます。彼はさらに「棲み分け」というのはカゲロウの幼虫の個体が棲み分けしているのではなく、種が棲み分けていることだとして、棲み分けしている種を「種社会」と呼びます。今西進化論のポイントは進化の基本単位は個体ではなく種であり、自然淘汰では種は進化しないとすることでダーウィンの進化論とははっきり異なります。今西論では、種の多様化を説明するために、自然淘汰とか適者をもってこなくても、単に生物はその生存する生態的な空間を拡大していったといえれば良いとしています。

この様に、多くの先人達によって革命的な科学的思考が生まれ、その様な科学の進歩によって、今日の社会的発展がなされて来ました。皆さんも既存の説を鵜呑みすることなく、他者からの研究評価を恐れずに、まずは自分を信じて研究を進めて下さい。さりながら、限られた大学院の時代に、すべて、好きな研究を好きな様に進められるというわけにはいきません。自分がやりたい研究と指導教員から与えられる研究テーマのミスマッチの様なこともあると思います。私自身の大学院時代の経験ですが、与えられた研究テーマに最初当惑しておりましたし、どう進めてよいか分かりませんでした。与えられた研究テーマには取り組んでおりましたが、途中から面白いと思い始めた別の研究も黙ってしておりました。いずれにせよ、研究が最初からスムーズに進むことはないでしょうし、科学の遂行に必要な探索とか考察が不十分では良い研究成果は得られません。2010年クロスカップリング反応でノーベル化学賞を受賞した根岸博士は科学者の発見の前提には10項目があるのではないかと述べています。ニーズ、願望、知識、意思力、アイデア、判断、不屈の行動力、作戦、系統だった探索、幸運がそれらであります。彼はその中でも系統だった探索が最も中心にあるのではないかと断言しています。但し、何かの発見とか発明というものにはちょっとした道草とか遊び心の様なことがきっかけとなることもあると思います。今日のIT産業の多くが多分にスタンフォード大学やマサチューセッツ工科大学などの優秀な学生の遊びから始まったと言われております。このこ

とは科学の発展と自由な心の相関性を示しています。

いずれにしましても、科学の進歩と人類の叡智の両者が世界の発展に貢献してきたことは事実であります。このことは研究倫理と研究における社会正義の重要性を示唆しています。それ故、研究が何よりも地球の平和や人類の福祉に役立ち、社会的にも有用であることが望まれます。皆さんの大学院の生活が世界の将来に繋がる実りの多いものであることを願うと同時に、この大学院の時代が気高い人格の形成の一翼を担う時期ともなることを望みます。

平成25年4月7日

岐阜大学学長

森 秀樹